



# なきごえ



1998

4





# New Face

(撮影：佐藤 紀子)

- 2 — New Face フクロモモンガ (佐藤 紀子)
- 3 — 動物と私 (大久保典子)  
カバーウォッチング アネハヅル (榊原 安昭)
- 4 — 博物館の新しい試み (瀬川也寸子)
- 6 — 動物飼育34年間でふり返って  
—退職にあたり— (正木時雄)
- 8 — グラフZOO どうぶつえんイベントカレンダー  
(中上正幸)
- 10 — キーパーズアイ (油家 謙二)
- 11 — ZOO DIARY (竹田 正人)

## カバーウォッチング

アネハヅル  
ツル目 ツル科  
*Anthropoides virgo*

最も小型のツルでロシアの黒海沿岸からシベリア、モンゴル、トルコ東部で繁殖し、アフリカ、パキスタン、東南アジアで越冬します。日本には迷鳥として時に記録されることがあります。

(撮影：榊原 安昭)

## ||||||| 動物と私 |||||

**最** 近印象に残っている犬のことを書きます。ほんとうの犬ではなくて、高村薫さんの最新作である『レディ・ジョーカー』に出てくる犬です。上・下本で2段組の長編小説の中のほんのチョイ役で、それも下巻のまんなかあたりではじめて登場します。

物語は「レディ・ジョーカー」と名のる犯人グループが大企業を恐喝する事件が起こり、犯人を追う警察、新聞記者、裏取り引きしようとする企業内部を重層的に描き、そして事件に地下金融がからみ……。登場人物たちの満たされない思いがからみあい、「人間存在の深淵を覗く」小説です。

**「お** い」「チビ」などと呼んでも尻尾を振って愛想をふりまく犬は、犯人グループの1人であるヨウちゃんが拾って、彼が働く町工場の庭につながれています。旋盤工であるヨウちゃんは、「生理も感情も面の皮の下にもぐりこんでいて、他人に分かるような形で外に



**大久保典子 さん**  
(大阪市立中央図書館・司書)

出てくることはない」青白い顔をした若い男ですが、「レディ・ジョーカー」を通じて、奇妙なことに何かしら精神的に落ちついてきた、たとえば味噌汁を美味しいというとき、その目も美味しいと言っている、と書かれています。

**ヨ** ウちゃんが人と人との間にある距離、他人の存在に目を向けはじめたとき、そこにすっぽりと嬉しげな犬がいた、ように思うのです。一度は別れ別れになったこのコンビは、最後にまた一緒にいることがわかり、なんだかほっとしてしまいます。重苦しい物語のなかで、ヨウちゃんと犬のコンビにはほかと陽があたっているような、そんな感じです。

**似** たような感じを覚えているのは『パピロン』に行きて歌え』(池澤夏樹著)です。レバノンから東京へパスポートも持たずにやってきた一人の若い兵士、ターリクが会おう「ポタンのような目をした気の弱そうな」犬。何を、ということもないけれど、物語のところどころで登場し、東京をさまようターリクが、犬のことを大切に思っていることがよくわかります。

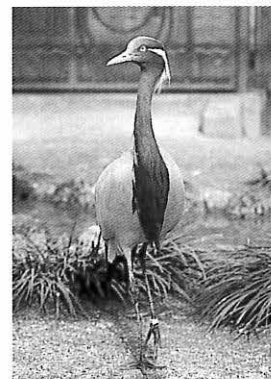
犬と一緒に暮らす、ということは今の生活ではとても考えられないけれど、本に登場する犬たちは、いつでもわたしにも嬉しげに尻尾を振って迎えてくれます。

(おおくぼのりこ)

## ← フクロモモンガ

フクロネズミ目  
フクロモモンガ科

オーストラリア東半分、タスマニア、ニューギニアに分布し、昼間は樹洞内の巣に潜み、樹上性で夜に活動します。樹上では活発に動き、滑空距離は50mにも達します。この2月に来園し、夜行性動物舎で展示しています。



# 博物館の新しい試み

## 滋賀県立琵琶湖博物館

皆さんは、博物館というどんなイメージをもたれるでしょうか？ たぶん、ほとんどの方が、“堅い”とか、“重々しい”といったイメージで、“明るく、楽しい”というイメージはもたれないのではないかと思います。

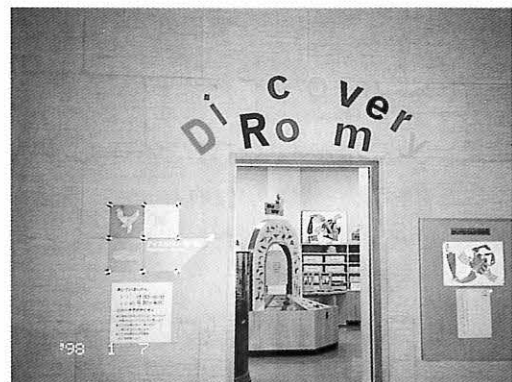
滋賀県立琵琶湖博物館は、そういった今までの博物館イメージをくつがえし、まったく新しい発想の博物館をつくりあげました。それは、より多くの人達に、より多く利用される博物館を目指すためだからです。

ここで簡単に琵琶湖博物館の活動の3本柱(基本理念)をあげてみましょう。

1. 「湖と人間」というテーマをもった博物館で未知の世界を研究し、成長・発展していく。
2. 展示は琵琶湖を知ってもらい入口にしかすぎない、そこから人々をフィールドへいざなう。
3. 多くの人々による交流の場

以上のような理念を掲げて、平成8年10月20日に滋賀県草津市にオープンいたしました。美しい琵琶湖を一望できるすばらしい所にあります。

展示室は、ABCDの4つがあり、ざっとご紹介しますと、A展示…「琵琶湖のおいたち」、B展示…「人と琵琶湖の歴史」、C展示…「湖の環境と人びとの暮らし」そしてこの展示の中に日本で最大級といわれる淡水の生き物達の水族展示もあります。D展示…ディスカバリー



ディスカバリー・ルーム入口

ルーム(体験ルーム)この部屋については特に次に詳しく紹介したいと思います。

実は、常設展示としては一番小さい部屋なのですが、この部屋こそ博物館の新しい試みの一つでもあるのです。ディスカバリーこれは英語の発見という意味です。その字の通り、発見の部屋なのです。ここが私の担当する展示室です。ここは、子どものための展示空間で、すべてハンズ・オン(さわれる)展示になっています。ここには、ABC展示のエッセンスがすべて盛り込んであり、対象年齢は3才くらい～小学生くらいまでを中心としています。中・高・大学生そして大人の方まで十分楽しめます。この展示室の主な目的は、子ども達が自分で展示に触れ、体験する中で、発見を通して博物館のテーマをいろいろな角度から理解してもらうことです。そして将来の博物館ファンを育てていく役割も目的のひとつです。

体験できる子どものための部屋という、何かを作ったり、教えてもらったりする所かな？と思われるかもしれませんが、それとは全く違います。スタッフは常時2～3名い



ディスカバリー・ルームのスタッフ(筆者は左から2人目)で、この部屋ではあえて何も教えません。スタッフは主に子ども達と感動を共有したり、興味や好奇心をかきたてるお手伝いをします。ここでは何といっても子ども達自身が主役なのです。

ディスカバリー・ルームは、オープン当初から大変な人気で、連日親子連れで賑わっています。リピーターも多く、もう10回以上来ているという子どもも何人もいます。本当にうれしいことです。

常設展示は18あり、その中でも人気があるのは、ザリガニの中に入って餌をはさみでつかむ「ザリガニになろう」やフナやコイ達の泳



人気の「ザリガニになろう」

ぐ水槽の中の丸い空間から顔をだして魚の世界を体験する「のぞいてみよう魚の世界」、世界の楽器を演奏できる「音の部屋」。また、顕微鏡に実際に触れて小さい世界を観察できる「ミクロの目」や昔の台所道具を使って疑似体験できる「おばあちゃんの台所」。そして、何といってもおすすめなのが25のオリジナルボックス(たまてばこ)を貸し出しする最高におもしろい「ディスカバリーコーナー」です。各展示のミニチュア版のような物がいろいろ工夫をこらして入っているので訪れた時には是非試してみてください。ほかにも「にんぎょうげきじょう」「動物のすみか」「糸描きコーナー」「石の下の生きもの」「水の中の生きもの」「お



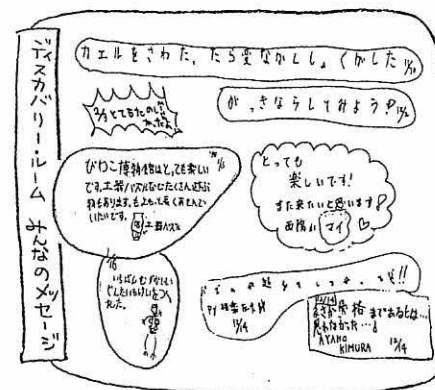
「糸描きコーナー」

かしの生きもの」「みんなのメッセージ」「世界のこどもたち」「生きものつながり」「道具としての歯、歯のような道具」「ブックコーナー」「車を走らせよう」があります。

ディスカバリー・ルームで仕事をしていて、子ども達のユニークな発想や豊かな創造力には本当に驚かされます。そういった子ども達の意見や考えを取り入れてどんどん作り替え、また作り上げられていく部屋であればいいと思っています。

博物館の中でも子ども達は、大事な大事な企画制作構成委員なのだあらためて感じます。この博物館をつくりあげていく大切な一員です。ですから博物館を訪れた時には是非、思った事、感じた事は何でもスタッフに話しかけてみてくださいね。次に来た時にはそれが実現しているかもしれませんよ。

琵琶湖博物館のおもしろさは、いつもすべての展示が未完成であることかもしれません。



「みんなのメッセージコーナー」にかかれた子ども達のメッセージ

博物館は、常に進化・発展しているのです。それも来館される方々の御意見やアイデア、また、新しい研究成果や発見によって変わっていく点です。ですから、何度も足を運びたくなるのかも知れません。

皆さんも私たちスタッフと一緒に新しい発見を是非してみませんか？ 新しいタイプの博物館を体験してみてください。

滋賀県立琵琶湖博物館  
展示科 ディスカバリー・ルーム 担当  
瀬川 也寸子



# 動物飼育34年間にふり返って -退職にあたり-

**私**は、昭和38年10月21日、大阪市公園局天王寺動物園に飼育係員として臨時採用され、昭和38年12月1日から、本務採用となりました。それ以来飼育一筋にやってまいりました。飼育係として最初に担当した動物は、ウサギ、テンジクネズミ、水鳥、ツル、ウマ、シカなどです。当時、建物は古く補修に追われる毎日でした。またその頃の飼料は現在とは比較にならないもので、フスマ、大根葉、乾草だけである上に餌の量も少ないものでした。そのためか動物も病気になりやすく、たいへんつらく悲しい思いをしたのを今も忘れることができません。飼料の運搬はすべてリヤカーに積みこみ押していったものです。その後動物の担当も次々とかわり、これが私の3年間の最初の体験でした。昭和42年からはトラ、ライオン、オオカミ、ジャガー、ヒョウなどの肉食獣を担当する事になりました。なにしろ相手が猛獣なので、最初のうちは大変緊張したものです。当園ではトラ、ライオン、オオカミのエサは鯨肉けいにくを与えていました。トラ、ライオンの一頭分のエサは5~6kgで、オオカミでは1.5kgを与えていました。1週間もすると動物にもだいふなれてきましたし、1頭1頭の動物のくせもだいふわかってきました。

**と**ころで、当時飼育係は朝8時には出勤し、すぐに動物舎に行き1頭ずつの動物を観察し、異状がなければ、寝室から放飼場に出していました。そのあと寝室の掃除をしエサの準備。動物舎にエサを運搬。夕方4時頃、動物を寝室に入れてエサを与えていました。そのほかにもいろいろな作業がありました。それは1月の寒い朝でした。トラが最初の出産をしたとき



人工哺育で育てたジャッカルの子とともに (昭和48年5月)

でした。私がトラ舎に行くと寝室で何かの鳴き声がありました。何だろうかとその声の方をじっと見ると、赤ちゃんが2頭モソモソしていたのです。それまで出産を全く予期していなかったもので、産室の準備もしていなかったのです。初産のトラは全く落ちつかず、仔を口でくわえて寝室を歩き回るだけで、哺乳させませんでした。そして翌朝、赤ちゃんは2頭しごいもいなくなっているのをみつけました。死骸はほとんどあとかたもなく、食いつくされ、小さな尾だけが残っていました。これはライオン、トラ、ジャガー、ヒョウ、オオカミなどの肉食獣にみられるもので、出産後に仔に乳を与えないで放置する若い母親によくある行動で、出産体験が初めてのことから起きるものと思われます。朝、獣舎に行くと夜の内に仔を出産することがたびたびあり、どれくらいの時間、仔を放置しておいたのかよく観察し、母乳を飲んでいなければすぐ引取り、人工哺育に入るものの、ときには失敗することもあり、飼育係として反省するときもありました。

**私**は今までライオン、トラ、ジャガー、ヒョウ、ジャッカルジャッカルの人工哺育をしましたが、そのなかでも飼育係としてとくに思い出深く記憶しているのは昭和48年3月8日に生まれたジャッカルジャッカルの人工哺育です。ジャッカルジャッカルの夫婦は大変仲が悪いため、別々のオリで飼育していましたが、メスに発情期が来たことから、早速オスをメスのオリに入れたところ、すぐに交尾を行ないました。その後メスの妊娠が確実となったので、寝室に寝ワラをたくさん敷いて50日目にメスを運動場に出し、その後寝室の中を見たところ、ワラを積みあげた中

に直径30cm位の穴を3個作り、巣のようにしていました。うす暗い寝室の中から赤ちゃんの鳴き声が聞こえてきました。妊娠期間は57日



ジャッカルの子を哺乳中 (昭和48年3月)

であり、予定より早い出産のため親仔共元気かとても心配でした。親は元気でしたが、仔は寒さのためか鳴き声が弱々しく、親の様子を静かに観察すると、親は仔の面倒をみているようですが、わずかな音でも聞こえるようならすぐ隣室に行ってしまう。あまり哺乳をしていないのか、仔もだんだん鳴き弱っているようなので、その日の夕方に人工哺育にすることを決めて引き取りました。

**仔**どもはオス1頭メス4頭で、色は黒、体重はオスが185g、メスは各々175g、170g、160g、155gでした。3頭は元気でしたが、メス2頭は非常に弱っていました。保育器内の温度を25℃にして、その日は仔の様子を見守ることにして、犬用人工乳(エスピラック)8gを温湯50ccにとかし、最初はスポイドを用いて与えることにしました。次に小指で吸いつくようにさせましたが、余り飲まないため少し体重が減りました。その後2、3日でうまく吸いついてくれるようになったので小型哺乳器に切替えました。1日1頭50ccを6回に分けて与えることにしましたが、メス2頭が激しい下痢を起こしたので、ペニシリンを注射しました。この注射が効を奏したのか、次の日からは元気になって5頭共ミルクを同じ位飲み、体重も少しずつ増えるようになりました。ところが夜になると、哺乳時間の間隔が長くなるため、乳首を捜しあって互いに吸いつき合い、それが原因で毛が抜け始めました。そこで哺育箱を5つに区切り、1頭ずつ別々の部屋に入れることにしました。生後12日目2頭の眼が細く開き、次

第に残りの3頭も眼が開き、耳の穴も開いてよく動きまわるようになりました。生後15日目頃より便は自分でするようになり、17日目頃には視力も大分ついてきたようでした。また音もこの頃からよく聞こえ始めているようでした。一方毛色は、黒色から薄茶へと変わってきていました。生後19日目には上顎うわあごの切歯2本と犬歯も生え出し、眼もはっきり見えているようでした。続いて下顎したあごの切歯2本と犬歯も生え、生後22日目位からウサギのミンチ肉を与え始めました。25日目位からはミルクとミンチを混ぜたものを与えると自分で食べるようになりました。生後28日目には上下の切歯3本、犬歯1本、計8本が生えそろい臼歯も上下各1本が生えました。生後31日目からは1つのオリに入れ一緒に外に出しました。みんな仲良くじゃれあって、とてもうれしそうでした。その後この5頭は共に他園にもらわれて行きました。



体重測定中のレッサーパンダの子供 (平成9年10月)

またアムールトラでは、その人工哺育にも成功しました。それからはレッサーパンダの担当することになり、昨年には天王寺動物園では待望の、レッサーパンダの繁殖に初めて成功しました。その後もレッサーパンダは、親仔仲良く暮らしています。

**天**王寺動物園での時間を私と共有してきた動物たちにここであらためて感謝したいと思います。34年間にわたる飼育活動は本当に幸せでした。おかげさまで私もこの3月末で無事に退職させていただきましました。最後に今後の動物園の発展と皆様方のご健康をお祈りして筆を置きたいと思ひます。

(飼育課前主任：正木時雄)



# どうぶつえんの イベントカレンダー

動物園では毎年恒例の楽しいイベントを行っています。今月のグラフZOOでは、動物園で催す楽しいイベントを写真で紹介します。

構成：中上正幸



みんなも参加してね

なまごえ34 (4) 1998

## 楽しいイベント情報 グラフZOO

### 春の動物と花のフェスティバル

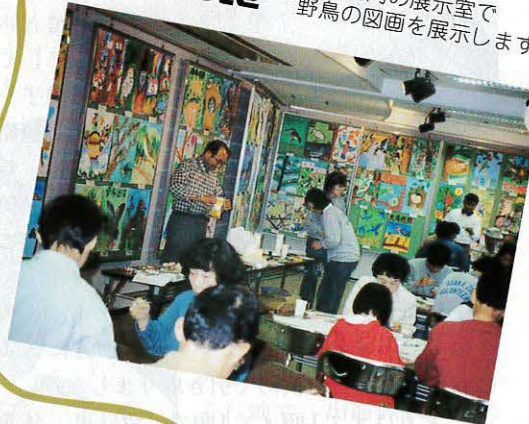


春、秋の行楽シーズンの日曜・祝日に、動物園・公園でいろいろなイベントを催します。公園ではジャズバンドの演奏やマジックショー、動物園ではステージで紙芝居や「こんにちは動物くん」などの楽しい催しを行います。

5月

### 野鳥展

5月の野鳥週間に動物園内の展示室で野鳥の図画を展示します。



7月

### ホッキョクグマに氷柱プレゼント

7月下旬の大暑の日、ホッキョクグマに氷柱をプレゼントします。これは、一時でもホッキョクグマに故郷のなつかしさを味わってもらうため毎年催しているものです。



### サマースクール

7月 夏休み



毎年7月下旬、小学生の高学年を対象にして、体験学習を行っています。

### ゾウの春子に



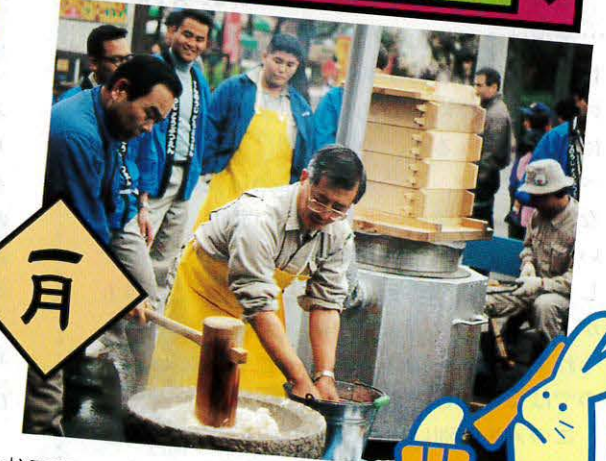
### リンゴのプレゼント



9月15日敬老の日に、当園の最長飼育動物であるゾウの春子に、大好物のリンゴなどをプレゼントします。

9月15日

### もちつき大会



お正月の1月3日に動物園内でお餅つき大会を行っています。

1月





# キーパーズ アイ

## 仲間はずれのヤギ

**ぼ**くは昨年の6月からヤギの担当をしています。最近気づいたことがあります。それはメスの1頭がいつもエサを食べる時、仲間はずれになっていることです。普通ならそのやぎは他のヤギにいじめられているのでは？と心配する所ですが、エサの時以外はそんな様子は全然ありません。不思議に思っているとある仮説が浮かび上がりました。



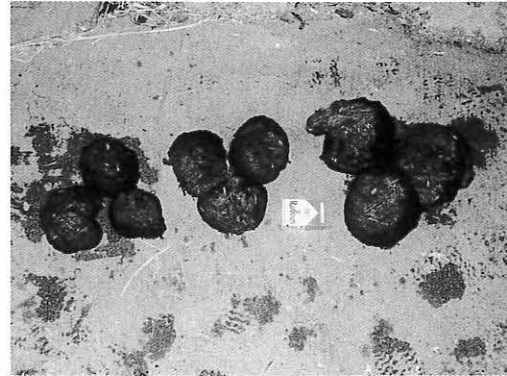
左はしのヤギがオス。右はしが角のあるメスヤギ

ヤギはオス1頭、メス3頭います。オスには横に長く伸びた角がありますが、メスにはその孤独なヤギにしか角はありません。エサ箱にエサを入れると、全頭一勢に寄って来て食べだしますが、この時オスの角は長すぎるとなりのメスの頭の上まで来ています。角のないメスにとっては特にじゃまにならないのですが、角のあるメスにしてみると角同士がぶつかってエサが食べにくいのでしょうか。それですぐに別のエサ箱の方に行ってしまうのではないのでしょうか。

このメスは別に仲間はずれではなく、オスといっしょに食事をしたくないだけみたいです。

## 個性のあるうんこ

**天**王寺動物園には春子、ユリ子、ラニー博子という3頭のメスゾウがいます。春子はゾウの中でリーダー的な存在で、飼育係に対しておだやかですが少しがんな面もあります。ユリ子は気があらい所があり、飼育係に対して攻撃的です。博子は他の2頭よりずっと年下で、甘えん坊な所もありますがやんちゃな一面もあります。



アジアゾウの糞。これをしたのは左からユリ子、春子、ラニー博子

この3頭の便を比べてみると、ユリ子の便が一番小さく、博子の便は逆に大きくて、春子の便はちょうど中間ぐらいの大きさです。3頭とも同じエサを与えているのになぜ便の大きさが違ってくるのか考えてみると、たぶん食べ方の違いのせいではないかと思いつきました。

**例**えば乾草の食べ方を観察してみると、春子はいつでもだいたい15回かんで次の乾草を口に入れますが、ユリ子はそれ以上かむ事が多く、博子は10回程しかかまなかったり25回以上かんだり、かなりばらつきがあります。またユリ子はわりとゆっくりエサを食べるタイプですが、博子は他のゾウが気になる時は急いでエサを食べてしまいます。つまりいつでも同じような食べ方をする春子の便を標準とすると、ユリ子はゆっくりとよくかむためエサが十分にこなれて便が小さくなり、逆に博子は決まった食べ方をせず、がつついたりするため便が大きくなるのではないのでしょうか。

なんとなく性格が表れているなぁと思うのはほくだけでしょうか？

(飼育課：油家 謙二)

2/1. フンボルトペンギンがNo.2の巣で産卵しました。

**2月6日** 昨年末から今年にかけて保護したホシハジロやキンクロハジロなど6種6羽の野鳥を自然復帰させました。



2/8. タヌキ1頭とフクロウ1羽を保護しました。

**2月9日** 秋田市大森山動物園にオスのニホンコウノトリ1羽とオスのシュバシコウ(ヨーロッパコウノトリ)1羽を、埼玉県こども動物自然公園にニホンコウノトリ1ペアを贈りました。



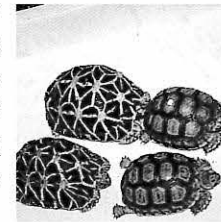
2/10. 埼玉県こども動物自然公園からメスのカンムリシロムクを借り受けました。検疫終了後、小鳥舎で展示しているオスと見合い後、同居させる予定です。

**2月12日** 夜行性動物舎でフサオネズミカンガルーの赤ちゃんが生まれました。動物園では多くの有袋類で赤ちゃんが育児嚢(ふくろ)から身体の一部を出した日を誕生日としています。



2/13. ヤマネコ舎で展示しているボブキャットのメスが耳を怪我したので、治療を始めました。

**2月14日** ワシントン条約違反で緊急保護されたホシガメ2頭とケヅメリクガメ2頭を受け入れました。

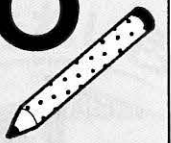


2/15. 動物園のおじさんのお話を開催しました。今回は担当飼育係員による「サルのお話」でした。

2/21. ヒツジの双子が生まれました。

## 今月もおもしろ情報満載

# ZOO DIARY



2/22. アカコンゴウインコが今季初めて産卵しました。

爬虫類生態館「アイファー」で展示中のトウバハコガメが交尾をしました。

2/24. ヒツジの双子が生まれました。

夜行性動物舎で展示中のハリモグラとフクロギツネの爪が伸びていたため、爪切りを行いました。

**2月25日** キーウィ3羽の体重測定を行いました。キーウィはニュージーランドにしか生息していない希少な鳥で、国内では当園だけが飼育・展示しています。



先日生まれた4頭のヒツジの個体識別をするため、耳標を付けました。

2/26. 1月17日に産卵したフンボルトペンギンの卵がふ化しました。ふ化日数は40日でした。

小鳥舎でカンムリシロムクのオスとメスの見合いを始めました。

## ■お知らせ■

●天王寺動物園  
動物園のおじさんのお話  
場所：天王寺動物園内レクチャールーム  
日時：5月17日(日) 1時～  
内容：未定

春の動物と花のフェスティバル  
場所：天王寺動物園内ステージ  
日時：4月28日～5月5日の(日曜・休日・祝)  
内容：人形劇・ゲーム等あり詳細は未定

●天王寺公園  
はならんまん'98  
場所：天王寺公園  
日時：4月29日～5月5日  
内容：多彩なイベントあり詳細は未定

愛ある暮らし、応援します。

# Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



## 生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間はず？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>  
B5変型判・オールカラー

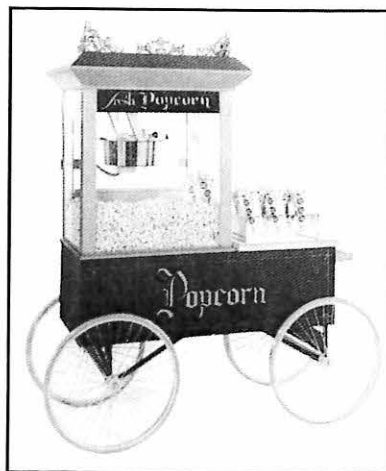
### むしくらしとかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち  
250種を紹介。

### ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



## マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他  
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856  
大阪府豊中市穂積1-10-30  
**(株)増田食品** TEL (06)865-0165

## 新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



### カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
阪急三番街店 ☎372-5031

## 狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子[編著] ●新刊  
3,500円+税 ●限定1000部  
狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学をはじめて世に紹介した平岩米吉の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を娘の眼から深く描く。  
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわせ、動物画家・大崎善司、日本好きのスター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

**狼** その生態と歴史  
2,600円+税

**犬と狼**

●2刷出来 2,500円+税

**犬の生態**

●6刷 2,000円+税

**犬の行動と心理**

●4刷 2,000円+税

**私の犬**

2,200円+税

**猫の歴史と奇話**

2,200円+税

**動物文学** 復刻版 [全10巻+補巻・索引]

174,757円+税 ●限定300部(分売不可)

南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

**築地書館** 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)  
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp

新作

貸出用ビデオ「**楽しい天王寺動物園**」  
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

**コアラテレホンカード(限定販売)**  
好評発売中 **¥800**(50度用)

## 天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー

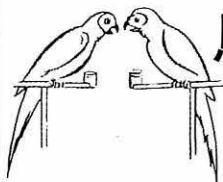
**500円** 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201





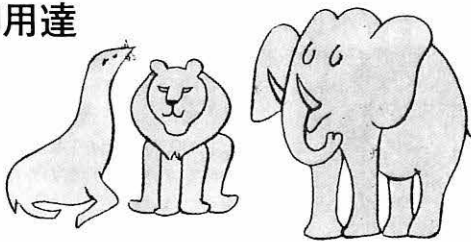
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社  
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ指定会社)  
Coca-ColaとCokeはThe Coca-Cola Companyの登録商標です



### 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

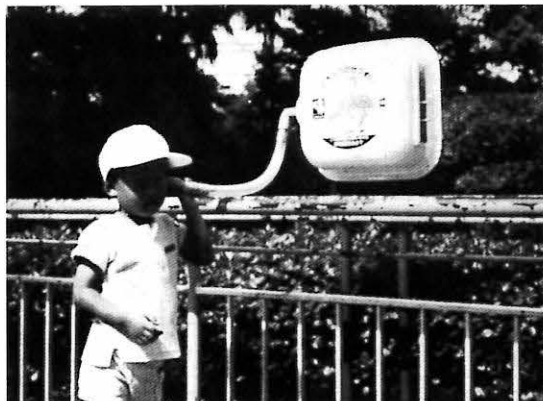


### 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 30円

動物園内での  
お食事、  
ご休憩は

動物園内.....

### 中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内  
南園売店 TEL 06-771-7110



..... LOTTE .....

みんな大好き

コアラのマーチ

〈チョコレート〉      〈ストロベリー〉



# 365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに。  
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままに、カルシウムの量を600mg(成人1日あたりの所要量)までアップさせた、雪印毎日骨太。日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召し上がりください。



雪印

## 雪印毎日骨太

300ml・100円/希望小売価格(税別)



一日  
愉快地  
たのしめる

◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。



久竹娛樂株式会社  
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ

1998年4月10日発行(毎月10日発行)第34巻 第4号(通巻392号)

編集/大阪市天王寺区動植物公園事務所  
発行人/大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗  
印刷所/株式会社 松村善進堂

〒54-063 大阪市天王寺区茶白山町6-74  
電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1  
振替口座 00930-2-37823

編集委員 井坂 進/馬詰好文/増野悦敏/中川哲男/藤田四郎/長谷川敏昭/落合正彦/宮下 実/榎原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄  
長谷川貞雄/中上正幸/佐藤紀子/萩原祐二/竹田正人/高見一利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/山元貞幸